
第 24 報 平成 23 年 9 月 13 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

財団法人 経済調査会

【ストレートアスファルト供給情報】

宮城県の JX 仙台製油所は、11 月より油槽所機能として 1 レーンでの出荷再開を計画。また、3 月を目標に生産再開を計画している。茨城県の JX 鹿島製油所は、生産は通常の 6 割程度の稼働だが、陸上・海上出荷とも通常通りの体制となっている。神奈川県東亜石油扇町工場では、8 月 11 日をもって陸上、海上とも出荷を終了したが、同日より横浜アスファルト基地からの出荷を開始しており、供給は安定している。

【針葉樹 構造用合板】

宮古、石巻、大船渡などの製造工場が被災したが、現在復旧作業中で、石巻の複数の工場では生産・出荷が部分的に再開されている。荷動きは、被災地での仮設住宅建設の大半が終了したことで、一般流通向けの供給も回復している。ただし、厚物品・長尺品では、十分な量の調達がいまだに難しい状態が続いている。被災工場の出荷再開が進むことで、これらアイテムの品薄感も次第に解消されていく見込み。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材工場の稼働状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材各工場の稼働状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼働状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

【ストレートアスファルト供給情報(製油所)】

①製油所の状況について

2011/09/09確認

製油所・工場名	所在地	稼働状況	出荷状況		備考	
			陸上出荷	海上出荷		
JX日鉱日石エネルギー	仙台製油所	宮城県	×	×	×	11月より油槽所機能として1レーンでの出荷再開を計画。また、3月を目標に生産再開を計画。
	鹿島製油所	茨城県	○	○	○	現在生産は通常の6割程度の稼働ではあるが、陸上・海上出荷とも通常通りの体制。
	根岸製油所	神奈川県	○	○	○	通常通り出荷。
コスモ石油	千葉製油所	千葉県	×	×	×	燃料油は、一部出荷再開も、スト・アスに関しては出荷不可の状態が続いている。
	四日市製油所	三重県	○	○	○	製造・出荷設備共に損傷なく、出荷可能。
	堺製油所	大阪府	—	—	—	2010年3月より生産停止。 (燃料油は問題なく生産・出荷中)
	坂出製油所	香川県	○	○	○	製造・出荷設備ともに損傷なく、出荷可能。
昭和シェル	東亜石油(株) 扇町工場	神奈川県	—	—	—	2011/8/11をもって、陸上、海上出荷ともに出荷を終了。また、同日より横浜アスファルト基地から出荷開始。
	昭和四日市石油(株) 四日市製油所	三重県	○	○	○	製造・出荷設備ともに損傷なく、出荷可能。
	西部石油(株) 山口製油所	山口県	○	○	○	製造・出荷設備ともに損傷なく、出荷可能。

※稼働状況:工場が製造を継続している場合は「○」、稼働していない場合は「×」で表示。

※出荷状況:出荷している場合は「○」、出荷していない場合は「×」で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

8月11日に昭和シェル扇町工場が出荷を終了したことで、関東地区において稼働している製油所は、JXの根岸製油所、鹿島製油所の2箇所となったが、8月11日より、昭和シェル横浜基地から出荷を開始。現在まで関東地区での供給は、安定している。

一方、東北地区太平洋岸では生産拠点・油槽所の多くが被災した。出荷を再開した油槽所や出荷再開に一定の目処がついた拠点はありますが、依然として供給余力は大きくなく、急激な需要増への対応が困難な状況は当面続く見通し。

【ストレートアスファルト供給情報】

①各県(地域)への供給状況について

2011/09/09確認

地区	都道府県名	ストレートアスファルト						
		供給動向				価格動向		
		供給可否	運搬車両	運搬経路	備考	現状	先行き	変動要因
北海道	北海道	○	○	○		横ばい	横ばい	
東北地区	青森県	△	△	△		横ばい	横ばい	物流コスト増大。
	岩手県	△	△	△		横ばい	横ばい	物流コスト増大。
	宮城県	△	△	△	11月よりJX仙台が油槽所として出荷予定	横ばい	横ばい	物流コスト増大。
	秋田県	△	△	△		横ばい	横ばい	物流コスト増大。
	山形県	△	△	△		横ばい	横ばい	物流コスト増大。
	福島県	△	△	△		横ばい	横ばい	物流コスト増大。
関東地区	茨城県	○	△	○	6月3日鹿島石油から出荷再開	横ばい	横ばい	
	栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野	○	△	○	昭和シェルが横浜に油槽所を8月11日開所	横ばい	横ばい	
北陸地区	新潟・富山・石川・福井	○	△	○	新潟県の車両は不足状態	横ばい	横ばい	
中部地区	静岡・愛知・岐阜・三重	○	○	○		横ばい	横ばい	
近畿地区	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	○	○	○		横ばい	横ばい	
中国地区	岡山・広島・山口・鳥取・島根	○	○	○		横ばい	横ばい	
四国地区	香川・愛媛・徳島・高知	○	○	○		横ばい	横ばい	
九州地区	福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島	○	○	○		横ばい	横ばい	
	沖縄県	○	○	○		横ばい	横ばい	

ストレートアスファルト

※供給状況:供給できる場合は「○」、供給できない場合は「×」で表示。

※運搬車両:ローリー車が充足している場合は「○」、一部、運搬車両不足により供給が遅れることがある場合は△、運搬車両の手当てが出来ないまたは、運搬ルートが確保できない場合は「×」で表示。

※運搬経路:震災前までに行っていた運搬ルートに変更が無い場合は「○」、運搬ルートに変更がある地域が一部生じている場合は「△」、運搬ルートの変更を余儀なくされている地域がほとんどの場合は「×」で表示。

②その他(今後懸念される事項、他地区とは異なる価格動向等)

東北地区については、製油所、油槽所の被災により運搬経路が震災前と異なる状況にあり、運搬コストが増大している地域がある。これによるコスト増分も販売価格に転嫁し、価格交渉が行われている。

また、供給面においても東北地区では、ローリー車が減少していることや、供給拠点の減少により、需要が集中した場合の製造、物流を懸念する声が多い。今後需要が増加した場合の安定的な供給には、全国の長期的な需給動向の予測が不可欠であるとしている。

【アスファルト混合物供給情報】

①各県(地域)への供給状況について

2011/09/09確認

地区	都道府県	供給動向				備考	現状	先行き	変動要因
		出荷状況	燃料 (工場 設備)	燃料 (運搬 車両)	運搬 車両				
北海道	北海道	減少	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
東北地区	青森県	前年並 以上	○	○	○		強含み	強含み	
	岩手県	前年並 以上	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
	宮城県	前年並 以上	○	○	△	ガレキ処理などで、運搬車両が 手当てしづらいことがある。	横ばい	強含み 横ばい	
	秋田県	前年並 以上	○	○	○		強含み	強含み	
	山形県	前年並 以上	○	○	○		強含み	強含み	
	福島県	前年並 以上	○	○	○	退避指示により稼働していない プラントが2工場ある。	横ばい	強含み 横ばい	
関東地区	茨城県	前年並 以上	○	○	○		強含み	強含み	
	栃木・群馬・埼玉・千 葉・東京・神奈川・山 梨・長野	前年並 以上	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
北陸地区	新潟・富山・石川・福 井	前年並 以上	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
中部地区	静岡・愛知・岐阜・三 重	減少	○	○	○		横ばい、 一部地区 で強含み	強含み 横ばい	
近畿地区	滋賀・京都・大阪・兵 庫・奈良・和歌山	前年並 以上	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
中国地区	岡山・広島・山口・鳥 取・島根	減少	○	○	○		横ばい、 一部地区 で強含み	強含み 横ばい	
四国地区	香川・愛媛・徳島・高 知	大幅減	○	○	○		横ばい	強含み 横ばい	
九州地区	福岡・佐賀・長崎・大 分・熊本・宮崎・鹿児 島	大幅減	○	○	○		横ばい、 一部地区 で強含み	強含み 横ばい	
	沖縄県	減少	○	○	○		強含み	強含み	

※出荷状況：前年並み・前年以上に出荷がある場合(対前年95%以上)は「前年並以上」、前年より出荷が少ない場合(対前年80～95%)は「減少」、前年より出荷が少ない場合(対前年80%未満)は「大幅減」で表示。
 ※燃料(工場設備)：工場設備の稼働に対するエネルギーが充足している場合は「○」、一部、不足することが生じる場合は「△」、不足することが多い場合は「×」で表示。
 ※燃料(運搬車両)：主に軽油が充足している場合は「○」、一部、不足することが生じる場合は「△」、不足することが多い場合は「×」で表示。
 ※運搬車両：混合物出荷のためのダンプトラックが充足している場合は「○」、一部、手当てしづらい日が生じている場合は「△」、十分に手当てできない状態の日が多い場合は「×」で表示。

②その他(今後懸念される事項、他地区とは異なる価格動向等)

ストアス高騰、稼働率低下などにより、全国各地で値上げ交渉が行われており、市況が強基調で推移している地区も多いが、販売側では、さらなる値上げ浸透に向け売り腰を強めている。出荷面では、特に中部以西で昨年に比べ出荷量が減少している地区が目立つ。こうした中、ストアス、燃料について供給が滞るなどの問題は生じていないが、今後は極端な需要の集中が懸念されており、製造側ではこれまで以上に国・県・市町村など各発注機関と需給情報を共有し、安定供給を図りたいとしている。

【改質アスファルト供給情報】

①製造拠点(工場等)の状況について

2011/09/09確認

工場名		所在地	稼働状況	出荷状況	備考
日進化成	東北工場	岩手県	○	○	稼働中。スト・アス入荷に若干の難有り。
	関東工場	埼玉県	○	○	通常稼働中。
ニチレキ	青森工場	青森県	○	○	通常通りの製造出荷を行っており、被災地へのサポート出荷をしている。
	仙台工場	宮城県	○	○	一部工場を稼働している。なお、完全復旧に向けて順調に進んでいる。
	千葉工場	千葉県	○	○	通常通りの製造出荷を行っており、被災地へのサポート出荷をしている。
東亜道路	青森工場	青森県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	岩手工場	岩手県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	宮城工場	宮城県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	福島工場	福島県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	茨城工場	茨城県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	群馬工場	群馬県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	千葉工場	千葉県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	神奈川工場	神奈川県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
	長野工場	長野県	○	○	ほぼ震災前の状況に戻っている。
昭和シェル	瀝青化学 袖ヶ浦工場	千葉県	○	○	設備稼働に問題なし。
	三重プラント	三重県	○	○	設備稼働に問題なし。

※稼働状況:工場が製造を継続している場合は「○」、稼働していない場合は「×」で表示。

※出荷状況:出荷している場合は「○」、出荷していない場合は「×」、燃料、原材料がなく出荷できない場合は「△」で表示。

②その他(今後懸念される事項等)

--

月刊「積算資料」掲載品（一般資材） 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	供給体制について	備考
共通資材	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	販売店	9月7日	(東日本大震災) 荷揚げ港、港頭倉庫の被害は、一部を 残し復旧している。 (台風12号) 中国・四国地区において、問屋在庫品の 一部に浸水被害が生じている。	(東日本大震災) 平常通り。 (台風12号) 在庫品の浸水被害は一部に留まっており、供給体制に大きな影 響は見られていない。	
共通資材	木材	226 ～ 229	仮設・ 土木用 木材	組合・問屋	9月7日	(東日本大震災) 特になし。 (台風12号) 三重・奈良・和歌山・岡山・鳥取・愛媛・ 徳島県における一部地域で、土砂災害に 伴い、製材工場の冠水、停電のほか、原 木出材のための林道が通行困難となるな どの被害が見られ、現在、復旧作業が行 われている。	(東日本大震災) 平常通り。 (台風12号) 先行き、原木(特に紀州材・尾鷲材や吉野材)の出材減少が懸 念されているものの、他地域からの供給や市中在庫により、現状 は通常取引に支障が見られるまでには至っていない。	
共通資材	木材	230 ～ 237	一般 建築用 木材	組合・問屋	9月7日			
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	販売店	9月7日	(東日本大震災) 宮古、石巻、大船渡など、製造工場が被 災。現在復旧作業中。石巻の複数工場 で、生産・出荷が部分的に再開されてい る。 (台風12号) 中国・四国地区において、問屋在庫品の 一部に浸水被害が生じている。また、中国 地区では、製造工場が一時的に操業を停 止していたが、現在は復旧している。	(東日本大震災) 被災地では、仮設住宅建設の大半が終了したことで、一般流通 向けの供給も回復に向かっている。ただし、厚物品・長尺品では十 分な量の調達がいまだに難しい状態が続いている。被災工場の 出荷再開が進むことで、これらアイテムの品薄感も次第に解消さ れていく見込み。 (台風12号) 在庫品の浸水被害は一部にとどまっている。一時的に操業を停 止した工場も既に再開しており、供給体制に大きな影響は見られ ない。	

月刊「積算資料」掲載品(一般資材) 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	供給体制について	備考
土木資材	軽仮設資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	全国仮設安全事業組合・軽仮設リース業協会	9月6日	被災地の一部事業所で材料流出や工場設備に被害があったが、復旧している。	現時点では東日本大震災復興向けの引き合いは少なく、保有量に問題はない。 被災地以外の供給は平常通り。	
土木資材	軽仮設資材	262(販売) 284(リース)	仮設ハウス	プレハブ建築協会、メーカー各社	9月6日	被災地の一部工場で設備に被害があったが、復旧している。	被災地の仮設住宅はまだ一部、工事が続いているが、メーカーでは部材の手当てはほぼ済みであり、供給の問題は解消されている。 リース品については、平常通りとなっている。	
土木資材	軽仮設資材	260 264	ブルーシート、土のう	メーカー、販売店各社	9月6日	なし。	ブルーシート、土のうとも東日本大震災後、メーカー、販売店は在庫を積み増している。台風12号による豪雨被害向けについても供給能力に問題はない。	